

# 中期経営計画(2020~2022)の概要

「阪神高速グループビジョン2030」  
(2016.4)

2030年の阪神高速の  
6つのありたい姿

- ①最高の安全と安心
- ②もっと便利で快適
- ③世界水準の技術
- ④多彩なビジネス
- ⑤関西の発展に貢献
- ⑥経営基盤の確立

具現化

中期経営計画  
(2017~2019)

策定

中期経営計画  
(2020~2022)

(成果)

距離料金制への移行、大和川線、西船場JCTの開通、リニューアルプロジェクトの開始 等

(課題)

ミッシングリンクの存在、都心部を中心とする渋滞、リニューアルプロジェクトの社会影響 等

## ● ビジョン策定後の社会経済情勢等の変化

- ・ 構造物の老朽化(開通後30年超の割合が60%)
- ・ 気候変動等による災害の激甚化
- ・ 関西の成長に向けたミッシングリンクの整備への期待と大阪・関西万博の決定
- ・ 急速なデジタル社会の進展
- ・ 高齢化の進展等、高速道路における交通安全上の課題の顕在化 等

## 3つの重点施策

### 重点1 リニューアルプロジェクト、災害対応力の強化

- 大規模更新事業(喜連瓜破、湊川等)の本格実施
  - ・ 2015年度より15年の期間で大規模更新事業を実施中
  - ・ 今後、橋梁の架け替え等通行止めを伴う工事が本格化
  - ・ 施工方法の検討や技術開発等の工夫によるお客さまや沿道への影響の軽減
- 南海トラフ地震への備え、激甚化する災害への対応
  - ・ 震災時の道路(緊急輸送道路)機能の確保に向けた耐震対策等の推進
  - ・ 入路遠隔閉鎖装置の設置(約100ヵ所)

### 重点2 ネットワーク整備の推進

- 淀川左岸線(2期・延伸部)及び大阪湾岸道路西伸部の整備
  - ・ ミッシングリンクにより円滑な交通を阻害
  - ・ 整備により、都心部の渋滞緩和が進展
  - ・ 大深度地下、長大橋梁の建設に必要な技術開発を推進
- 渋滞対策
  - ・ ボトルネック区間において、車線拡幅等の抜本対策を調査検討しつつ、車線運用改善等の対策も推進

### 重点3 お客さま満足の向上

- 交通事故削減(交通事故件数650件減)
  - ・ 交通事故件数は、前中期経営計画では約1,100件削減
  - ・ 今後、事故多発区間を中心とした対策を実施(分合流部でのカラー舗装等)
- 逆走・誤進入対策(誤進入による事故ゼロ)
- 新たなPAの整備(3ヵ所)、新しい道路交通情報(渋滞通過時間等)の提供
- ICTを活用した点検・診断技術の高度化
- 自動運転車に適應する交通運用等の研究開発

働き方改革による業務生産性の向上 (Hi-TeLus、テレワーク等)

# 【最高の安全と安心】

## 重点1 リニューアルプロジェクト、災害対応力の強化

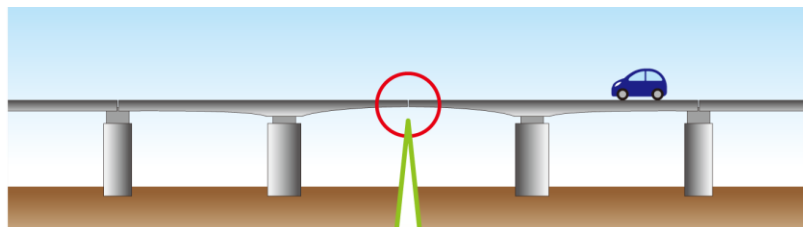
- 老朽化が進んだ構造物のリニューアルプロジェクトを推進します。
- 災害発生時に、お客さまの安全を確保し、阪神高速道路を地域のライフラインとして機能させます。

### ▶リニューアルプロジェクトの着実な推進

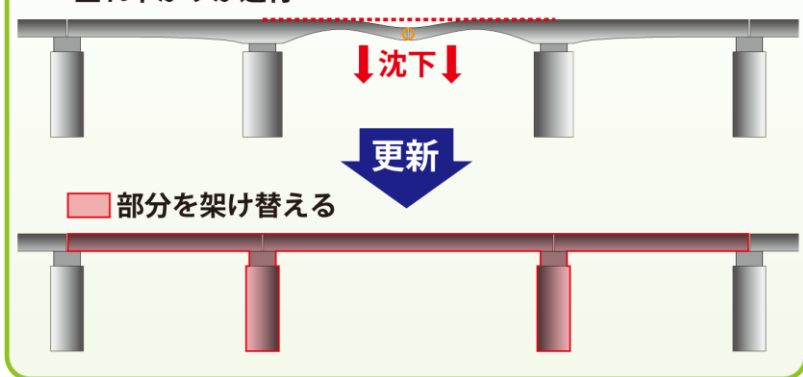
○14号松原線喜連瓜破付近等で橋梁の大規模更新工事を本格実施します。

#### 【大規模更新】

#### 橋梁を架け替える大規模更新を実施



老朽化に伴いコンクリート橋梁の中央（ヒンジ）部で垂れ下がりが進行

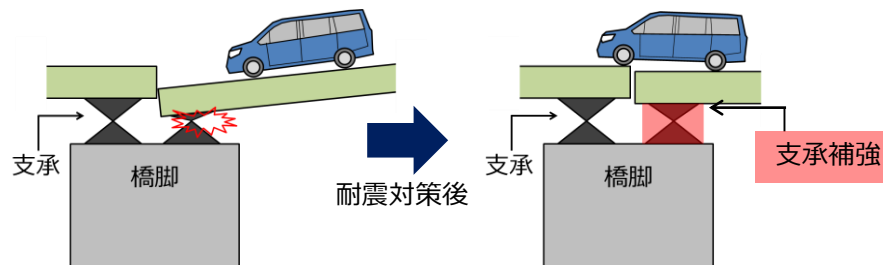


喜連瓜破付近の橋梁架け替え

### ▶災害対応力の強化

○震災時に早期に道路（緊急輸送道路）機能を確保できるよう、大きな段差の発生を抑制する耐震対策等を推進します。

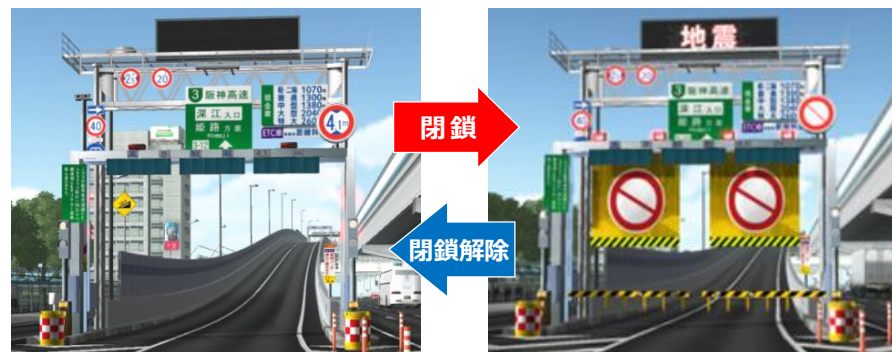
#### 【耐震対策】



○地震発生時のお客さまの安全確保に向けて、遠隔操作により、迅速に入路閉鎖と閉鎖解除ができる装置を整備します。

約100カ所 ※  
(2022年度まで)

#### 【入路遠隔閉鎖装置】



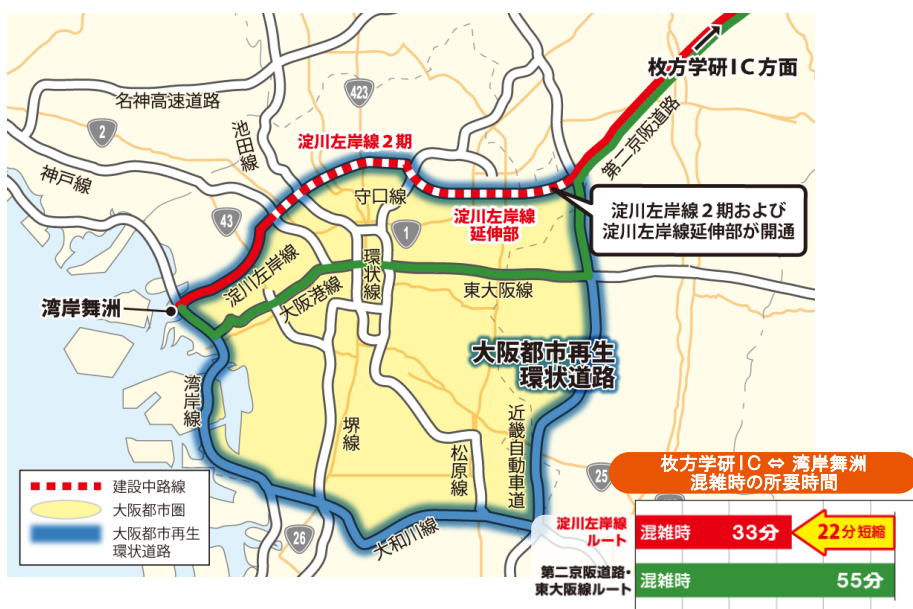
※ 無人料金所など、閉鎖に時間を要する入路

## 重点2 ネットワーク整備の推進

- 大阪都心部の環状ネットワーク整備や、阪神間の東西ネットワーク整備を着実に推進します。
- 大深度シールドトンネルや世界を代表する長大斜張橋の建設に向けて、技術開発を推進します。

### ▶ネットワーク整備

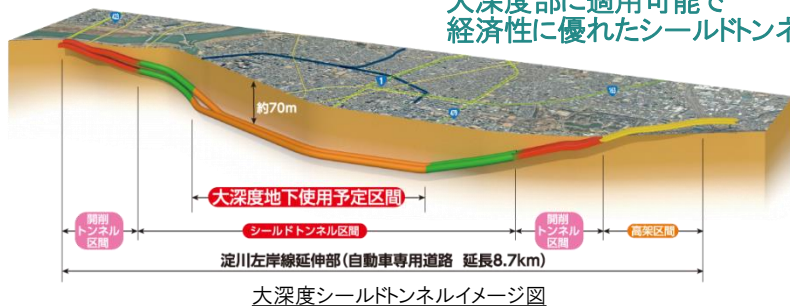
○大阪都市再生環状道路の完成に向けて、淀川左岸線2期及び淀川左岸線延伸部を着実に事業推進します。



○阪神間のネットワーク機能の強化に向けて、大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）を着実に事業推進します。



大深度部に適用可能で  
経済性に優れたシールドトンネル



連続斜張橋及び1主塔斜張橋の建設に必要な技術開発



※淀川左岸線2期・延伸部及び大阪湾岸道路西伸部の整備効果は、各路線パンフレットより抜粋

**重点3** お客さま満足の向上

- 交通事故削減や逆走・誤進入による事故ゼロに取り組みます。
- パーキングエリアの整備により、さらに快適な高速道路を目指します。

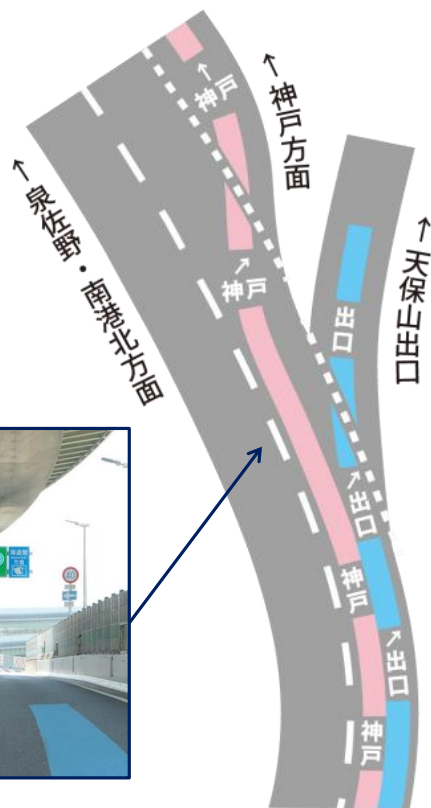
▶ **交通安全対策の実施**

○ 事故多発区間を中心とした対策(分合流部でのカラー舗装等)や逆走・誤進入による事故ゼロに向けた対策を実施します。

▶ **パーキングエリアの整備**

○ 本線料金所跡地3ヶ所に、新たなPA(仮称:新高石、新泉大津、新中島)を整備します。

**交通事故件数  
650件減(13%減)**

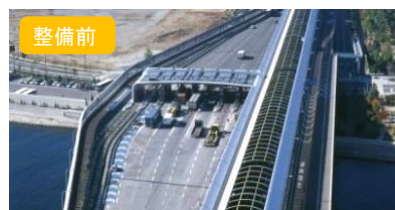


分岐部におけるわかりやすい道路案内の事例

**3カ所 (2022年度まで)**



【本線料金所跡地のPA整備のイメージ】



5号湾岸線 南芦屋浜PA